

“経営に知恵と革新”

令和5年5月1日発行（隔月発行）Vol.770号

マネジメント コンサルタント

Management Consultant

2023年5月・6月号



レンゲツツジの花が咲く霧ヶ峰・車山
（長野県）

認定経営革新等支援機関



一般社団法人日本経営士会

第69回定時社員総会のご案内

社員(正会員)の皆様には日頃より、当会の事業運営に深いご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第69回定時社員総会を下記のとおり開催いたします。ご多忙とは存じますが、ご出席いただきますようお願いいたします。(当日の開催は対面とオンラインのハイブリットで開催いたします。)

尚、ご出欠は後日、お送り致します定時社員総会の資料に同封のハガキにてお願いいたします。ご欠席の場合も必要事項をご記入のうえ、必ずご投函願います。

記

日 時：令和5年6月30日(金) 15:30～17:00

懇親会：17:00～19:00(会費 5,000円)

※懇親会はコロナの状況により1か月前に開催の有無をお知らせいたします。

会 場：スクワール麹町3階フリースペース「錦華」

東京都千代田区麹町6-6

TEL：03-3234-8739 FAX：03-3234-8738

<http://www.square.or.jp/access/>

* JR四ツ谷駅 麹町口正面 徒歩30秒

* 東京メトロ丸の内線 四ツ谷駅 四ツ谷口 徒歩3分

* 東京メトロ南北線 四ツ谷駅 3番出口 徒歩2分

【議 案】

第一号議案：令和四年度事業報告に関する件

第二号議案：令和四年度決算承認の件 監査報告

第三号議案：インボイス制度について

第四号議案：令和五年度事業計画に関する件

第五号議案：令和五年度事業事業収支予算に関する件

※決議事項は第二・三号議案となります。

※議案の変更がある場合がございます。その際は速やかにお知らせいたします。

以 上

INDEX

理事会通信	2
事業部・委員会活動	
倫理委員会からの報告(2)	4
資格審査委員会からの報告	5
MPP委員会・単位取得者一覧	6
経営支援事業部・e-ラーニング試行のお知らせ	10
NJK女性経営士の会・MPP開催のお知らせ	11
「第9回 AMCJクロッシング」開催	12
第3回「SDGs経営士養成講座」のご案内	13
TAMA マネジメント研究会 創立30周年記念行事のご案内	14
支部活動報告	
北海道支部・2022年度を振り返って	15
北関東支部 新潟県会・総会の報告	16
北関東支部 茨城県会・活動報告(MPP)	17
千葉支部・活動報告	19
中部支部・活動報告	20
近畿支部・支部所在地変更等	23
四国支部・支部活動報告	24
会員投稿 「SDGsを巡って」	25
高橋栄一先生を偲んで 南関東支部長 戸部廣康	26
高橋栄一先生を偲んで 経営支援事業部委員長 横田英滋	27
経営士論文エントリー締切り迫る!!	30
ビジネス・イノベーション・アワード参加企業募集	31
インフォメーション	32
第58期経営士養成講座のご案内	33

マネジメントコンサルタント (Management Consultant)

発行所：一般社団法人日本経営士会

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-12 B.D.A. 二番町ビル5F

Tel : 03-3239-0691 Fax : 03-3239-1831

<https://nihonkeieishikai.com>

表紙：レンゲツツジの花が咲く霧ヶ峰・車山(長野県)

理事会通信

<令和4年度第11回定例理事会(抜粋)>

記

1. 日 時：令和5年2月17日(金) 13:00～15:00
2. 会 場：本部会議室、ZOOMによるオンライン配信

①会計制度について

近藤専務より資料に沿って、支部アンケート結果ならびに支部へのヒアリング結果から、支部への負担増になり兼ねないので、昨年12月より検討してきた支部の「4半期決算」の来年度からの実施は白紙にし、従来の会計システムを継続運用する旨の報告があり、審議の結果全会一致を以って承認された。

②資格審査に関わる説明について

児玉理事より1月15日に開催した説明会を加味した入会時の資格審査資料が配布され、推薦者の手間がかからないよう文例等も多く作った旨の説明があった。審議中、会長からはまだ審査が厳しすぎるのではないかと。再考すること。竹俣理事からは資格経験は履歴書を見れば解るので人間性を重視した項目を増やすべき等の意見が出た。審議の結果今後も引続き資格審査の留意事項を整備し、効率化を検討することで審議継続となった。

③入会承認について

三品理事が環境経営士1名、近藤専務がSDGs経営士23名の入会承認を求め、審議の結果全会一致を以って承認された。

④令和5年度会議スケジュールについて

事務局より前回理事会にて指摘のあった部分を訂正したスケジュール表が提出され審議の結果全会一致を以って承認された。また、理事支部長会の日時アンケート結果を発表したが、出来るだけ会員に関係する理事会決定事項を速やかに伝えるため、今年度と同じスケジュールで開催することが全会一致を以って承認された。

以 上

<令和4年度第12回定例理事会(抜粋)>

記

1. 日 時：令和5年3月17日(金) 13:30～16:25
2. 会 場：本部会議室、ZOOMによるオンライン配信

①令和5年度予算案について

近藤専務理事が資料に沿って説明。会員の減少が顕著なので来年度には大胆なテコ入れが必要で、特に会の業務として、SMCの収益化、新設のSDGs経営士養成講座の安定的な実施、法人向け賛助会員制度のリニューアル、経営士補から経営士への昇格の場を積極的に行う等の説明があった。尚、来期は会員管理システムのリニューアル、インボイス制度の対応等避けられない出費があるので、役員が率先して予算達成に向け幅広い行動に注力する必要性を促した。審議の結果、全会一致を以って令和5年度予算案は承認された。

②経営士入会(休会)承認について

児玉理事より資料に沿って、経営士補から経営士の昇格6名、推薦入会1名の承認要請があり、審議の結果全会一致を以って承認された。また近藤専務理事より、休会者1名の申請があり審議の結果全会一致を以って承認された。

③事業部・委員会委員更新について

近藤専務理事よりインボイス対応プロジェクト、個人情報対応プロジェクトを正式に立ち上げ来期上半期までに規程を作成する旨の提案があり、審議の結果全会一致を以って承認された。特にインボイスについては会員が課税業者あるいは非課税事業者になるかどうかは個人の判断に委ねるが日本経営士会としての方向性を検討していく旨の説明があった。

④経営士、経営士補の入会時期について

近藤専務理事より経営士、経営士補の入会月を従来の年4回から毎月理事会開催時に承認を行い実際の入会のタイムラグをなくし新入会者に会の活動に積極的参加を促す提案があり、それに伴い初年度の会費、関連事項の変更を記した資料が示され、審議の結果全会一致を以って承認された。

⑤OH調査対応について

近藤専務理事より昨年からアンケート等で調査したOH(間接業務)の報奨金制度について説明があり、令和5年度の事業計画策定により収支計画が極めて厳しい状態であり、予算化が困難のため来年度は導入を見送りたい旨の発言があり、審議の結果全会一致を以って承認された。

⑥賛助会員(法人)について

近藤専務理事より法人に特化した賛助会員制度の提案があり、メリットの明確化、今後のスケジュール、会費設定等を来期後半から開始できるよう近藤専務理事がリーダーとなり進めていく事となった。

永年表彰者

鈴木 祥浩会員

在籍 50 年 (近畿支部 会員番号 911)

*表彰状と慰労金をお送りいたしました。

以 上

倫理委員 西村 豊

危機管理と倫理

危機管理はリスクマネジメントとも言われます。ビジネスにおけるリスクは広範囲にわたり、中でも今注目されているのは、「コーポレート・ガバナンス」の分野です。

ガバナンスとは健全な経営を行っていくための管理体制のことですが、「ガバナンスを強化する事が課題であると感じているが具体的に何を強化したら良いのか」と悩まれている経営者も多いのではないのでしょうか。そのためにやらなければならないことは「コンプライアンス(法令遵守)の強化」と「リスクマネジメント(危機管理)」であると言われています。つまり、危機管理とは、コーポレート・ガバナンスを強化するための一つの「手段」と言えます。

組織的な不祥事や重大な事故など自らの組織に深刻なダメージが予想される「危機」の発生を想定し、被害の最少化や早期の終息を目指した危機管理態勢の整備は、多くの大企業は対策が行われていますが、中小企業はまだまだ出遅れています。また、危機発生時に不可欠なメディア対応を含む危機管理広報についても、自社ではなかなか対応できない企業も多くあります。

そういった中で、今日、企業が危機に見舞われるケースは増加傾向にあります。ほんの小さな業務上のミスであっても、メディアに大きく報道され、重大な二次リスクに見舞われるケースも少なくありません。また長年の商習慣として行われてきたことが、突然「不適切な行為」として明るみに出て、社会問題化や事件に発展するケースもあります。さらには、私怨や人間関係、職場への不満などに起因した内部告発から発覚する場合があります。このようにリスクが多様化している原因の一つに、ソーシャルメディアの急速な普及の影響があり、企業は大きなダメージを受けることがあります。そういった意味でも、危機管理広報の役割は大変重要であるといえます。

企業としては、このような事態を未然に防ぐためにも、コーポレート・ガバナンスを強化していくことが重要であることは言うまでもありません。健全な経営を実現し、対外的にも企業評価を高めることができますし、中長期的なメリットとして、持続的な成長や競争力の強化も見込めます。さらには、企業の信頼性が高まることで、株主やステークホルダーへの利益が守られます。金融機関からの評価にもつながり、出資や融資も受けやすくなるでしょう。

このようなことは、我が「日本経営士会」にも同じことが言えます。経営士が高い倫理性を保持していくことで、経営士会の信頼性を高めることができます。透明性の高い組織になることで、会員の定着・確保、競争力の向上という好循環が生まれます。クライアント企業からは、「日本経営士会の経営士にお願いして良かった」と言われるコンサルタントになりたいものです。

資格審査委員会からの報告

資格審査委員会

4月より令和5年度の資格審査委員会の活動がスタートしました。

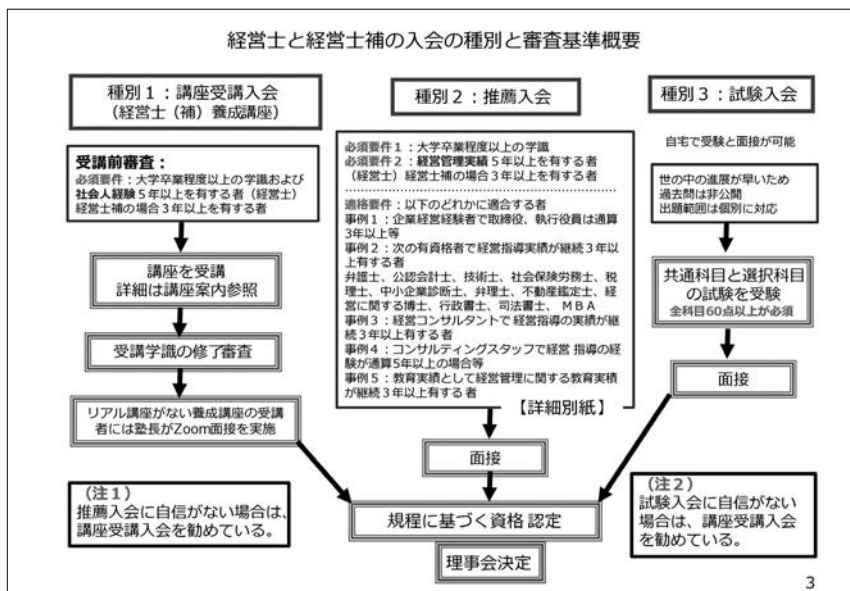
昨年度は「入会審査に関わる全国説明会」を2度開催し各支部長、支部担当者の皆様にも資格審査の手続きへのご理解をいただくとともに、みなさま方のご意見を基に、資格審査の手続きの元になる資格に関する規程の改定や入会申込書の改善などを行ってきました。

(改定内容は前号のマネジメント誌に掲載)

3年にわたる理事会の審議を経て、資格審査に関わる基本の整備は一段落しました。

今後は「会員増強」と「品質確保」のバランスの明確化と、入会希望者・支部担当者・資格審査委員会の稼働軽減を目的とした「手続きの負担軽減」の改善活動を行います。

具体的には、「資格審査実施要領」の策定、記入時の参考になる「文例集」の整備、入会希望者にわたす入会の手引きの作成などを中心に取り組んでまいります。



* 5月以降の資格審査委員会開催日 情報

5/19(金) 20:00～22:00 6/23(金) 20:00～22:00

推薦入会・経営士への昇格審査は毎月受付中 審査要件などを確認の上、資格審査委員会開催1週前に書式を本部に提出してください。

* 令和5年4月の理事会承認、入会情報

推薦入会3名(台湾支部を含む)、経営士養成講座受講後入会9名様を4月21日の理事会へ付議し、入会承認をいただきました。

各支部にエリア担当の資格審査委員がおります。

まずはエリア担当の審査委員にご相談ください。

その他、資料請求・お問い合わせは、bzu03624@nifty.com 島影まで、メール問い合わせにはCCで、本部の田中さん tanaka@nihonkeieishikai.com をつけてください。

MPP実施にあたりご理解、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

令和4年度に実施されたMPPの単位取得状況、高単位取得者、MPP登録リーダー情報をお伝えいたします。

MPPリーダー更新研修につきましては、コロナ禍での救済措置として、猶予期間を設けておりましたが、令和4年度を持ちまして救済措置は終了といたします。令和5年度より通常の更新期間となりますので、対象となるリーダーの皆様には更新研修の受講をお願いいたします。

令和5年度ではホームページ改修やMPPケースのCDを廃止しホームページで概要を閲覧しPDFデータでの配信に移行いたします。

コロナも収束傾向にあり、集まれる機会も増えてきました。令和5年度はリアルMPPの実施、及び積極的な活動をよろしくお願い申し上げます。

MPP委員会委員長 栗山 一宏

1. MPP高単位保有者一覧(通算50単位以上)

会員番号	氏 名	支 部	令和4年度 までの累計	会員番号	氏 名	支 部	令和4年度 までの累計
2680	日野 隆生	東 京	514	2719	林 久雄	千 葉	108
3053	李 孟熹	台湾特別	416	5221	蔡 有義	台湾特別	103
3970	塚本 裕宥	北 関 東	385	4412	東原 實	四 国	102
4418	河上 晃	近 畿	321	1340	高橋 幸雄	南 関 東	101
4544	近藤 安弘	南 関 東	316	2323	藤原 義博	九 州	100
2972	張 銘江	台湾特別	289	1150	出村 忠廣	南 関 東	93
3584	鈴木 健	南 関 東	286	4269	齋藤 誠一郎	東 京	92
3343	邱 炳輝	台湾特別	231	4705	岩井 美喜夫	四 国	86
4334	謝 明堂	台湾特別	217	4054	神崎 進	九 州	85
2022	磯部 正美	北 関 東	206	5199	三品 富義	中 部	83
4516	陳 信安	台湾特別	195	4784	土橋 留美子	東 京	82
4595	黃 世欽	台湾特別	191	4733	廣瀬 典仁	南 関 東	82
4804	陳 木梓	台湾特別	171	911	鈴木 祥浩	近 畿	78
4802	邱 黎燦	台湾特別	170	環境経営士	津田 嵩	南 関 東	77
2042	木村 泰博	北 関 東	166	2306	山本 正樹	中 国	76
4760	島影 教子	東 京	160	2452	鶴岡 義明	千 葉	73
4905	陳 益世	台湾特別	158	1121	中野 澄雄	中 国	71
3686	鈴木 勇	北 関 東	157	4624	臼井 邦夫	北 関 東	65
4994	一瀬 良之	南 関 東	153	5061	江 致平	台湾特別	65
442	渡部 喜政	東 北	144	5278	宇和野 敦子	近 畿	63
2041	渡辺 良男	北 関 東	138	4945	江尻 敏彰	中 国	61
2421	大内 正雄	九 州	132	4311	高村 一文	北 海 道	58
2358	佐藤 光子	東 北	128	2929	山本 英夫	南 関 東	58
3176	栗山 一宏	北 関 東	120	3966	庄司 芳昭	東 北	57
5117	陳 俊碩	台湾特別	119	3116	伊藤 彰彦	南 関 東	57
5116	莊 翔斌	台湾特別	116	4890	西山 茂	北 関 東	55
5179	北原 雅人	近 畿	113	2311	高田 英二	四 国	55
5276	竹岡 栄徳	近 畿	112	4959	陳 俊榮	台湾特別	51
4997	松永 桂子	南 関 東	109				

(敬称略) (令和5年4月1日現在)

2. 令和4年度MPP単位取得者一覧表(会員)

会員番号	氏 名	支 部	取得単位	会員番号	氏 名	支 部	取得単位
2680	日野 隆生	東 京	49	4983	高橋 直也	東 北	2
4544	近藤 安弘	南 関 東	31	5090	表 伸也	東 北	2
5501	竹俣 大介	北 関 東	16	5234	伊藤 仁	東 北	2
2022	磯部 正美	北 関 東	13	5682	柳 知宏	千 葉	2
2042	木村 泰博	北 関 東	12	5354	大内 雅功	北 関 東	2
3176	桑山 一宏	北 関 東	12	5525	相場 清人	北 関 東	2
4784	土橋 留美子	東 京	12	環境経営士	大塚 太郎	北 関 東	2
2041	渡辺 良男	北 関 東	11	5668	奥村 まみ子	中 部	2
4890	西山 茂	北 関 東	11	5371	仲田 頼継	近 畿	2
5433	粉川 雅人	北 関 東	11	環境経営士	中地 啓介	近 畿	2
5434	鈴木 裕之	北 関 東	11	5182	福田 幸雄	中 国	2
4760	島影 教子	東 京	10	3343	邱 炳輝	台湾特別	2
4994	一瀬 良之	南 関 東	10	4334	謝 明堂	台湾特別	2
4962	松岡 繁	北 関 東	9	5123	李 啓華	台湾特別	2
5362	坂本 充	東 京	7	5462	劉 邦寧	台湾特別	2
5677	張替 信子	東 京	7	5598	高 芳眞	台湾特別	2
4613	竹内 一登	南 関 東	7	1766	深田 一弥	東 北	1
4997	松永 桂子	南 関 東	7	3966	庄司 芳昭	東 北	1
5199	三品 富義	中 部	7	4554	加藤 和弘	東 北	1
5061	江 致平	台湾特別	7	4906	佐藤 眞也	東 北	1
5221	蔡 有義	台湾特別	7	5635	齊藤 哲也	東 北	1
2358	佐藤 光子	東 北	6	5695	武藤 健浩	東 北	1
5294	佐藤 広文	東 北	6	5696	相原 勇士	東 北	1
5640	松下 暢子	近 畿	6	5683	角張 康夫	埼 玉	1
2972	張 銘江	台湾特別	6	5684	小林 淳也	埼 玉	1
5116	莊 翔斌	台湾特別	6	5685	佐々木 善則	埼 玉	1
5117	陳 俊碩	台湾特別	6	5468	幡谷 貞賢	北 関 東	1
3584	鈴木 健	南 関 東	5	5622	東ヶ崎 鈴子	北 関 東	1
5560	外岡 圭子	南 関 東	5	5225	松田 大輔	北 関 東	1
5563	二宮 治巳	近 畿	5	5526	椎葉 彰典	北 関 東	1
2323	藤原 義博	九 州	5	4198	福島 光伸	東 京	1
4624	臼井 邦夫	北 関 東	4	5569	宇田川 正徳	東 京	1
5289	鈴木 啓之	南 関 東	4	5653	有手 文雄	東 京	1
5336	廣瀬 朗	南 関 東	4	環境経営士	木村 篤樹	東 京	1
3350	川出 泰造	中 国	4	5706	高瀬 裕太	東 京	1
4712	八幡 憲一郎	九 州	4	5688	北川 憲彦	東 京	1
3053	李 孟熹	台湾特別	4	5689	細見 佳克	東 京	1
4516	陳 信安	台湾特別	4	環境経営士	森 和久	東 京	1
4595	黄 世欽	台湾特別	4	環境経営士	阿川 光祐	南 関 東	1
4804	陳 木梓	台湾特別	4	環境経営士	中山 孟	南 関 東	1
4959	陳 俊榮	台湾特別	4	5454	村松 宏計	南 関 東	1
5496	須川 清一	北 海 道	3	5559	宮尾 圭一	南 関 東	1
4961	山下 健二	東 北	3	5479	徳浪 万里	南 関 東	1
3686	鈴木 勇	北 関 東	3	5514	森 他巳也	南 関 東	1
3970	塚本 裕宥	北 関 東	3	5455	鍋田 悟	南 関 東	1
5605	赤羽 博	北 関 東	3	5110	江口 敬一	中 部	1
5567	石原 群司	東 京	3	5347	梅本 泰則	中 部	1
5703	安藤 恭代	東 京	3	5365	今枝 健治	中 部	1
5481	江藤 昭人	南 関 東	3	5691	鈴木 章友	中 部	1
5643	水田 裕子	近 畿	3	5617	串田 敏美	近 畿	1
4802	邱 黎燦	台湾特別	3	環境経営士	松尾 好洋	近 畿	1
5443	何 鴻鈞	台湾特別	3				

(敬称略) (令和5年4月1日現在)

令和4年度MPP単位取得者一覧表(一般)

住 所	氏 名	取得 単位	住 所	氏 名	取得 単位	住 所	氏 名	取得 単位
新潟市	本間 美香子	6	浜松市	平野 勝	1	仙台市	太田 綾	1
南魚沼市	原沢 亮太	6	長岡市	南口 誠	1	仙台市	吉田 優太郎	1
さいたま市	萩原 玄	4	新潟市	本間 透修	1	仙台市	佐藤 悠貴	1
長岡市	加藤 誠	3	長岡市	山口 勇氣	1	甲府市	渡邊 佳苗	1
磐田市	大隅 達也	2	産能大	安東 香織	1	新潟市	鷺沢 尚志	1
長岡市	勝身 麻美	2	産能大	勝又 公美子	1	知多市	奥村 敦	1
産能大	林 智絵	2	産能大	森下 智弘	1	東京都	田丸 修司	1
産能大	六田 将嘉	2	産能大	石山 トミエ	1	五泉市	樋口 圭治	1
産能大	西本 崇央	2	産能大	渡邊 則之	1	東京都	竹下 克美	1
長岡市	小林 健	2	産能大	梅森 真二	1	聖籠町	五十嵐 由美子	1
長浜市	渡辺 勝也	2	産能大	堀底 瞳	1	高崎市	竹内 裕一	1
新潟市	永田 功二	2	産能大	住田 浩嗣	1	新潟市	瀬賀 孝子	1
台 湾	張 芳紫	2	産能大	物江 恵太	1	新潟市	稲野 純也	1
浜松市	井口 隆義	1	産能大	田原 理賀	1	新潟市	長沼 和騎	1
浜松市	内山 明彦	1	産能大	竹崎 将	1	つくば市	橋本 琢磨	1
浜松市	熊切 隆二	1	産能大	長崎 一輝	1	新潟市	松井 美浩	1
磐田市	杉浦 元彦	1	産能大	隅田 吉孝	1	三鷹市	平山 道雄	1
浜松市	松井 孝徳	1	産能大	廣田 育子	1	燕 市	幸田 高明	1
豊橋市	櫻井 修文	1	産能大	北村 功一	1	香芝市	中嶋 一登	1
浜松市	藤田 稔	1	魚沼市	櫻井 智子	1	長岡市	江口 郁子	1
浜松市	山本 勝昭	1	山形市	枝松 祐子	1	水戸市	栃尾 正俊	1
浜松市	松本 力洋	1	西置賜郡	青木 勝広	1	水戸市	大津 宏行	1
浜松市	山下 佳浩	1	仙台市	鈴木 康祐	1	(敬称略) (令和5年4月1日現在)		

3. MPPリーダー登録有効期間一覧表

有効期間が2022年度以前の方は、更新研修を受講するまでリーダーを担当することができません。更新研修開催については、対象支部とも連携してMPP委員会で計画する予定です。

★の方は、20単位未満でリーダー養成研修受講者です。20単位取得するまでリーダーを担当することができません。ご注意ください。

会員番号	氏 名	支 部	登録有効 期間	会員番号	氏 名	支 部	登録有効 期間
4311	高村 一文	北 海 道	2026	4418	河上 晃	近 畿	2026
4658	溝渕 新蔵	北 海 道	2026	5179	北原 雅人	近 畿	2026
3673	岡崎 充男	東 北	2024	5276(経営士補)	竹岡 栄徳	近 畿	2022
4554	加藤 和弘	東 北	2024	5371	仲田 頼継	近 畿	2022
3966	庄司 芳昭	東 北	2024	2306	山本 正樹	中 国	2022
5398	★桔梗 美紀	東 北	2023	4513	石田 茂	中 国	2024
2358	佐藤 光子	東 北	2024	4899	★小原 啓子	中 国	2024
2719	林 久雄	千 葉	2022	3350	川出 泰造	中 国	2027
2452	鶴岡 義明	千 葉	2023	4412	東原 實	四 国	2022
4909	中杉 保雄	埼 玉	2023	4705	岩井 美喜夫	四 国	2026
4755	佐藤 信枝	埼 玉	2023	4481	伊藤 綱男	四 国	2026
4458	小西 洋三	埼 玉	2024	4116	塚元 啓幸	四 国	2021
3686	鈴木 勇	北 関 東	2023	5112	★川西 健雄	四 国	2026
3970	塚本 裕宥	北 関 東	2024	5203	★内海 信一	四 国	2026
5167	木股 悟志	北 関 東	2026	5327	★加藤 佳子	四 国	2021
2022	磯部 正美	北 関 東	2027	5323	★旅田 佳彦	四 国	2021
2041	渡辺 良男	北 関 東	2027	2421	大内 正雄	九 州	2022
2042	木村 泰博	北 関 東	2027	4054	神崎 進	九 州	2026
3176	栗山 一宏	北 関 東	2027	2323	藤原 義博	九 州	2027
4890	西山 茂	北 関 東	2027	5014	案浦 浩二	九 州	2022
1709	茨木 智	北 関 東	2022	4712	八幡 憲一郎	九 州	2027
4624	臼井 邦夫	北 関 東	2023	2972	張 銘江	台湾特別	2024
5433	粉川 雅人	北 関 東	2026	3053	李 孟熹	台湾特別	2025
5434	鈴木 裕之	北 関 東	2026	3343	邱 炳輝	台湾特別	2022
4962	松岡 繁	北 関 東	2026	4334	謝 明堂	台湾特別	2024
4760	島影 教子	東 京	2023	4595	黄 世欽	台湾特別	2024
4886	鈴木 和男	東 京	2026	4516	陳 信安	台湾特別	2024
2680	日野 隆生	東 京	2023	4905	陳 益世	台湾特別	2022
4784	土橋 留美子	東 京	2026	4802	邱 黎燦	台湾特別	2022
3584	鈴木 健	南 関 東	2026	4804	陳 木梓	台湾特別	2024
4881	金子 勝祐	南 関 東	2023	4959	陳 俊榮	台湾特別	2024
環境経営士	津田 嵩	南 関 東	2024	5221	蔡 有義	台湾特別	2025
4613	竹内 一登	南 関 東	2026	5116	莊 翔斌	台湾特別	2022
2929	山本 英夫	南 関 東	2026	5123	李 啓華	台湾特別	2025
4544	近藤 安弘	南 関 東	2027	5117	陳 俊硯	台湾特別	2024
4733	廣瀬 典仁	南 関 東	2022	5443	何 鷄鈞	台湾特別	2024
4994	一瀬 良之	南 関 東	2022	5462	劉 邦寧	台湾特別	2024
4996	小宮山 千恵子	南 関 東	2025	5523	吳 聰穀	台湾特別	2024
4997	松永 桂子	南 関 東	2025	5598	高 芳眞	台湾特別	2024
5199	三品 富義	中 部	2027	(敬称略) (令和5年4月1日現在)			

e-ラーニング(内部型)の試行を開始します

経営支援事業部

1. 趣旨・狙い

独占業務を有する認定経営革新等支援機関である当会として、中小企業等の支援をより活性化させるべく、掲題施策を開始します。

これは24時間、365日、会員の方のペースで、PC、スマホ等で国や自治体等が実施する各種中小企業支援施策(税制、補助金、貸付等)主体に経営をサポートする諸項目を廉価で学べるものです。(過去に一時実施されたシステムとは別物です)

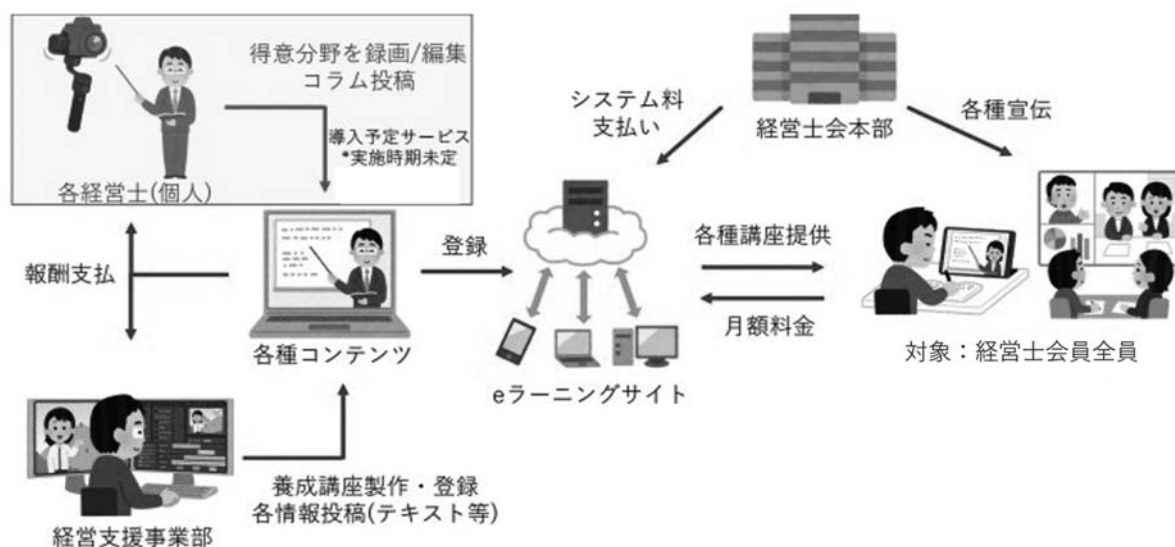
2. 説明会の開催

GW明け(5月14日頃目途)にZoomによる説明会を開催します。

本制度についての仕組み、具体的利用方法等を1時間程度でご説明します。

URL・詳細等は、別途ご案内します。

3. 制度イメージ図



4. コンテンツ(プログラム)

コンテンツは、冒頭の趣旨に沿って、順次拡充してまいります。開始段階では 昨年10月に実施した経営支援アドバイザー養成講座を一部リニューアルの上、公開いたします。

全体を視聴(受講)+確認テスト等合格者は経営支援アドバイザー資格取得可能。(予定価格:2万5千円程度 1か月見放題)

また、関心ある項目だけを選択して視聴することも可能です。(予定価格:1単位1000円程度、1か月見放題)

ご期待ください&皆さまのご利用をお待ちしております。

事業部・委員会活動

NJK女性経営士の会 委員会からのお知らせ

(一社)日本経営士会が独自に開発したケースメソッド式による経営能力開発プログラム

2023年(令和5年度)女性リーダーによるMPPのご案内

NJK女性経営士の会

女性リーダーによるMPPを実施致します。限定4チームとなっておりますので、お早めにお申込み下さい。皆さまのご参加お待ちしております。

MPPとは？ Management Professional Program の略、(一社)日本経営士会が独自開発した、ケースメソッドによる経営能力開発の研究プログラムです。

保有する経営士の実例をもとにした他業種、多彩なケース(課題)を業種や立場、専門領域の異なる、あるいは、同領域の少人数の複数グループで並行して協議検討し、それぞれのグループで導く多彩な考えを発表共有します。その過程、疑似体験を通して得られる考え方や、異なった角度からの気づかなかった視点が触発され、専門性を越えた広がりやグループでの共感的資産を形成「問題解決型」から「問題思考型」の思考に変革、情報交流の機会づくり、「チームマネジメント」の意識を高めた能力、ナレッジマネジメントの創発にも効果を期待できるなど、現在、広く企業・団体の方々に普及し活用頂いているプログラムです。

開催日：令和5年 8月26日(土) 13:30～16:30

場 所：TIME SHARING 四谷9B

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-9 第一光明堂ビル 9F

※東京メトロ丸の内線四谷三丁目駅「1番出口」より徒歩1分1番出口から地上に出ると、すぐにサイゼリアやサンドラッグが見えます。そのビルの9階、エレベーターを降りて左手突き当りにあるお部屋です。



対 象：どなたでもご参加頂けます。

会 費：2,000円

お申込み：以下の①～③いずれかの方法でお申込み下さい。

① NJK女性経営士の会 吉村へメール：yoshimurachizuko@gmail.com

② 本部へメール：office@nihonkeieishikai.com

③ 本部へFAX：氏名・会社名・ご住所・電話番号・e-mailを記載の上お申し込み下さい。

本部FAX 03-3239-1831

※振込口座は下記でお願い致します。(お振込み期限7月28日(金))

三井住友銀行 麹町支店(支店番号：218)) 普通預金 7166277

一般社団法人日本経営士会(ニホンケイエイシカイ)

※振込手数料はお客様負担でお願い致します。また領収書は振込のご利用明細書をもちまして領収書に代えさせていただきます。

事業部・委員会活動

「第9回AMCJクロッシング」開催

AMCJクロッシング

5月はとても爽やかな気候の日が多く、草木の青さも目に付くようになり、色々なものに新鮮さを感じることも増えてきますね！

今年2月にWEB開催をしましたクロッシングは、第9回目にあたります。今回は、最近、注目を集めている「メタバース」をテーマに取り上げました。

35名の参加者で、活発なご意見がでましたので今回発表させていただきます。これからも全国会員の皆さまが気軽に参加でき、お互いを知っていただける「フラットな場」になるように、運営を行ってまいります。

AMCJクロッシング委員長 戸田 裕之

今年も！「リアル！クロッシング」を開催します。

7月15日(土)、受付13:00～17:00、名古屋開催、ウインクあいち

今年の夏は名古屋でリアル開催を行います。久しぶりの対面企画です！みんなで集まって「ワイガヤ」をしましょう。お気軽に奮って参加していただきたいと思います。詳細は決まり次第、ご連絡致します。終了後は懇親会もあります！

◆『第9回AMCJクロッシング』、2月12日(日)、10:00～12:00、参加者35名

テーマ：「メタバースって何?!」～WEB3.0が生み出す次世代～

ファシリテーター：石原群司 会員(東京)／土橋るみこ 会員(東京)

ご意見ご感想(アンケート返信のほとんどが「大変良かった」がほとんどでした)

- ・今回は体系的に、整理して、学ぶことができました。
- ・とてもわかりやすく、最近の動向を短時間で学ぶことができました。
- ・技術の進歩の凄さと社会課題解決への可能性に、改めて大きな気づきを得ました。
- ・WEB1.0世代で取り残されそうですが、一生懸命後ろを追いかけていきます！
- ・モラルとして、法的に整備すべき課題もありそうですね
- ・画面で見たことは無かったのですが、サンプルのサイトで体験感をもてました。
- ・久しぶりに参加させて頂き、春霞の爽快さを感じています。
- ・石原さん、土橋さんのプレゼンは最高でした。

あれだけまとまって、メタバースの「話」と「映像」を聴講できたのは初めてです。

◆今後のスケジュール

2023年 6月11日(日)、WEB開催、10:00～12:00、テーマ未定

2023年 8月13日(日)、WEB開催、10:00～12:00、テーマ未定

お申し込み先 : keieishikai.crossing@gmail.com

①お名前、②会員番号、③支部名、④電話番号、⑤参加月

第3回「SDGs経営士養成講座」のご案内 ：6月の土曜日4日間ZOOMにて 一般の方をこの講座にお誘いして受講申し込みがあれば謝礼を!!

SMC「SDGs経営士」養成グループ 福井 浩

日本経営士会は、「SDGs経営士®」養成講座を6月の土曜日に開催します。

SDGs・環境経営面から支援する専門家「SDGs経営士®」を養成し、資格を授与するための講座です。6月3日、10日、17日、24日すべて土曜日です。当会会員は受講費用を安価に設定しています。

経営士・経営士補は25,000円で4日間、環境経営士は20,000円で10日、17日、24日の3日間のみです。(Zoomによるオンライン講座)

また一般の方にこの講座を紹介し受講された場合1万円の謝礼が支払われます。

【詳細】

一般の方のお申込みは⇒「環境経営士」で検索か又は<https://www.compact-eco.com>の「各種講座申し込み」のページから申し込みが可能です。

会員の方で「SDGs経営士養成講座」に申込みの場合はお名前(フリガナ)、住所、電話番号、メールアドレス、経営士・経営士補・環境経営士のいずれかの資格名、企業名所属(具体的お仕事)記載の上、メール送信(e-mail: info@amcj.tokyo)でお願い致します。

※お申込み締め切りは、2023年5月26日(金)迄です。



SDGs 経営士® 養成講座
のご案内(AMCJ会員向け)

日程：2023年6月 [3-4日間/18-24時間 (10:00am~5:00pm)]
3日(土)、10日(土)、17日(土)、24日(土)

形式：オンラインWeb (Zoom)のため、全国から受講可能です。

定員：30名 (先着順)

受講料：経営士・経営士補 ▶ 25,000円(税込)、全日程4日間受講(24時間)
環境経営士 ▶ 20,000円(税込)、初日(3日)免除とし3日間受講(18時間)
※受講開始後の返金はいたしません。ご了承下さい。

カリキュラム	3日(土)▶	10日(土)▶	17日(土)▶	24日(土)▶
環境と倫理、環境問題と社会デザイン、環境問題、グループワーク	環境と倫理、環境問題と社会デザイン、環境問題、グループワーク	企業(地方自治体、NGO など含む)を取り巻くステークホルダーの動向、環境経営、グループワーク	環境問題とビジネス、SDGs経営普及のために、環境関係法規など、グループワーク	SDGs支援専門家養成のためのワークショップ、修了テスト、修了証

※カリキュラムは、本会・サステナブルマネジメントセンター(SMC)の所属メンバーです。

【SDGs経営士®養成講座申込】(Excel)に記入していただくか、またはお名前(フリガナ)、住所、電話番号、メールアドレス、企業名所属(具体的お仕事)記載の上、メール送信(e-mail: info@amcj.tokyo)でお願い致します。
※お申込み締め切りは、2023年5月26日(金)迄です。
【ご記入頂いた個人情報(AMCJ養成講座)に関するごみ使用させていただきます。】

【お問い合わせ先】 (一社)日本経営士会 TEL:03-3239-0691 (平日9:00~16:00)
またはe-mail: info@amcj.tokyo でお願い致します。
【振込先】 三井住友銀行 豊町支店 普通預金No.7166277 (一社)日本経営士会
※受講料の納入をもって受付完了とさせていただきます。

一般社団法人 日本経営士会 〒102-0084東京都千代田区二番町 12-12 B.D.A.二番ビル 5F

(チラシ作成：SDGs経営士養成グループ 本田哲行委員)

事業部・委員会活動

TAMAマネジメント研究会 創立30周年記念行事のご案内

TAMAマネジメント研究会

TAMAマネジメント研究会は、平成5年(1993年)6月に社団法人日本経営士会東京支部の研究会として立川で発足し、2023年6月に30周年を迎えます。

日本経営士会ならびにTAMAマネジメント研究会(TAMA研)会員の皆様には、これまで多大なご指導・ご支援を賜りまして衷心より御礼申し上げます。

TAMA研では創立30周年を記念いたしまして、本年6月24日(土)に下記の記念行事を行います。皆様には奮ってご参加いただければ幸いです。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

記

1. 創立30周年記念基調講演会および記念懇親会の開催：

1-1 30周年記念基調講演会

◆日時：令和5年6月24日(土) 14時～16時

◆会場：三多摩労働会館大会議室(立川市)

〒190-0012 東京都立川市曙町2丁目15-20

立川駅北口から徒歩約2分

◆基調講演：日本経営士会 会長 鈴木 和男

講演テーマ[未定]

◆参加費用：2,000円

1-2 記念懇親会

◆日時：令和5年6月24日(土) 16時30分～18時30分

◆会場：立川ビアホール(立川市曙町14-11 ダイヤビル1F)

◆参加費用：4,000円

2. 30周年記念誌の発行：6月24日に発行いたします。

3. 30周年記念基調講演会、記念懇親会参加の皆様には、TAMA研トートバッグと30周年記念誌を記念品としてお持ち帰りいただきます。

以上

TAMAマネジメント研究会

代表幹事 山本 忠

支部活動報告

北海道支部2022年度を振り返って

北海道支部

2022年度の北海道支部の活動は、コロナ禍でしたが、毎月月例会(幹事会と研究会)を開催しました。また、新たな会員が3名加わりました。計画に対する実施状況を確認しながら2023年度の活動に生かしたいと考えています。課題は経営に関連する社会的なニーズが高まっていますが、高齢化等の中で支部活動の活性化をどう図るかが問われています。

表一北海道支部2022年度活動計画と活動実績

活動計画	活動実績	成果と課題
1. 支部総会 ①活動報告、活動計画、予算報告、予算計画	①6月18日(土)15時～16時30分に実施 会場およびZoom出席8名、委任5名、欠席9名	・メールアドレスを有さない会員(未登録)が9名おり、かつ遠隔地の会員もあり、参加が課題 ・支部活動の活性化が課題
2. 支部例会(支部幹事会と研修会で毎月第三土曜日15時～) ①支部幹事会(活動確認と計画協議決定) ②支部研究会(支部会員への連絡と情報交換、会員からの話題提供、MPPの取り組みなど)	①支部幹事会を研究会と合わせて毎月実施 ②研究会 ・7月「顧客満足のための経営戦略」 須川清一 ・8月「自社の観光事業についての紹介」 小笠原利治 ・9月「経営哲学について」 溝渕新蔵 ・10月「電力電気事業のかかえる課題について」 石黒 基 ・11月「新たな事業として策定した経営確認計画～氷を活用した貯蔵法」 小笠原利治 ・12月「垂直管理による農業法人の競争優位性に関する研究」 須川清一 ・1月(新年会)特別講演「マネージャーの仕事の再検討」 顧問 玉井健一氏 ・2月「イラベラパーと自社事業」 平村徹郎 ・3月MPPから「社員の意識改革」指導 溝渕新蔵	・成果としてコロナ禍であるが、毎月の月例会(幹事会と研究会)を実施した、継続が力となる ・参加者は会場とZoomを含めて毎回6名前後で低調、会員が興味を持つ工夫、参加への働きかけが必要 ・メールが無い遠隔会員もいることから郵送等での資料送付も必要
3. 地区合同会(函館・帯広) ①函館地区 ②帯広地区	①函館地区合同会は、7月23日(土)15時～の開催で準備を進めたが、コロナの急激な蔓延で開催の延期を決定 ②帯広地区の実施は見送った	・函館地区は担当の副支部長の島尻副支部長が開催に向け準備をして下さったが、コロナ急増でやむなく延期
4. 本部主催の会議と等への参加 ①定期総会 ②広報委員の選任 ③理事支部長会議 ④ブロック会議 ⑤他支部との連携など	①定期総会に支部長が会場参加 ②広報委員に小松功会員を推薦 ③理事支部長会議 6月、7月(臨時)、8月(8月は副支部長の島尻)、10月、12月、2月に参加 ④ブロック会議 7月・9月、11月、1月、3月に支部長が参加 ⑤MPP(本部、他支部主催)に3度支部長が参加	・コロナ禍であるが、Zoom等を利用した会議等で情報交換やコミュニケーションを実施 ・支部幹事がいろいろな役割を分担して下さっている
5. 関係機関との折衝 ①行政機関、サポート機関など	①(公財)北海道中小企業支援センター、北海道商工会連合会等に活動紹介と連携の挨拶	・関係機関もコロナ禍で活動をセーブしている状況も見られ、継続して推進する
6. 会員増強の取り組み ①役員、会員からの案内、説明	①経営士として石黒 基・平村徹郎会員、環境経営士として紺野慶文会員が入会、70周年記念誌等を用いて入会の案内	・経営士を中心とした会員増加は、具体的にどのようなメリットがあるか、どのように対象者の仕事に生かせるか等の質問や支部活動実態とのギャップから苦戦
7. その他 ①会計管理 ②情報発信 ③会報への支部活動報告	①高村氏が会計管理を担当、着実に推進 ②マネジメントコンサルタントを用いて情報発信 ③月例会案内で前月の議事報告、当月議案発信	・必要な取り組みが忠実に推進されている

支部活動報告

北関東支部新潟県会 総会

北関東支部 新潟県会

北関東支部新潟県会長 磯部 正美

新潟県会 総会

日 時 2023年4月8日(土) 17:00 ~ 18:00

会 場 新潟市 割烹 岡田

出席者 新潟県会 磯部県会長、渡辺副会長、木村副会長、西山副会長、鈴木会員、
椎葉会員、栗山支部長

今年は例年より1週間以上早く桜が散り、替わりに県花のチューリップが鮮やかな新潟市で、北関東支部新潟県会総会を開催しました。今年度の総会は上記7名の会員出席で開催し、木村副会長の司会進行のもと磯部県会長挨拶、栗山支部長挨拶があり、総会成立の報告後に下記の議案審議を行いました。

- ・2022年度事業報告 磯部県会長報告
- ・2023年度事業計画 磯部県会長報告
- ・2022年度収支報告 木村副会長報告
- ・2023年度収支予算 木村副会長報告

上記議案は2022年度収支実績、2023年度収支予算について一部修正で全議案承認となりました。

昨年度の主要事業としては2022年5月に新潟市で北関東支部事業報告会、2022年7月～2023年2月に公開MPPを長岡市で3回、新潟市で2回開催しました。11月19～20日には新潟県会主管で北関東支部MPPを開催、併せてMPPリーダー養成・更新研修を実施しました。MPPリーダー養成コースでは粉川会員と鈴木会員が新しくMPPリーダーとなり、新潟県会のMPPリーダー資格者は5人から7人となりました。

今年度はMPPケース研究会を3回／年、公開MPPを4回／年開催を予定しています。MPPケース研究会ではトライアルケース作成と公開MPPでは一般参加者を増やしていくことに引き続き注力していく方針です。また外部研修として8月に県内企業見学会を計画しています。

ようやく新型コロナウィルス感染症もウィズコロナ／アフターコロナへの対応時代に入りますが、総会終了後は懇親会を開催しました。マスクを外しての4年ぶり開放感ある懇親会になり、会員相互の意見・情報交換を行い大変有意義な一日となりました。



(新潟県会総会の開会)



(信濃川やすらぎ堤のチューリップ)

支部活動報告

2022年度第2回 茨城県会公開MPP 開催結果

北関東支部 茨城県会

当会会員の皆様、当会の宝であるMPPを大切にしたいと何度もお伝えします。

2022年度第1回公開MPPを開催して以来、ほぼ半年ぶりのリアルによる開催です。

コロナ禍への慎重な対応をしながら開催、参加の皆様健康面の異常発生はなかった様子安堵しています。MPPはリアルによる開催が意思疎通を図れ、リーダーやレコーダーに過重とも言える負担が掛からないと推測、慎重を期しながら継続的に開催したいと考えています。次回開催予定＝コロナ禍後で未確定だがいつ頃可能か？ 本年7月予定を期待。

この結果報告については、批判的に読みいただきたいが、批判に終始するのではなく、肯定できる点については、参考にさせていただきたい。それがMPPの真髄と考えます。

会員歴少の皆様、MPPの神髄を理解して「広く深い思考力向上」にご活用願います。

当会では「MPP」を商標登録して、他団体等から類似品出現を防止しており、私達が商標を大切に、商標の積極活用を図るのが責務と考えます。皆様如何お考えですか？

当県会では公開MPPを年間4回開催、MPPへの魅力付加のため、県外や賛助会員、次に会員外を招き、複数チームでの開催を心掛けていたが、コロナ禍で予定できず、辛抱強く回復を待っています。今回は計10名にご参加いただきありがとうございます。

今回は2チーム編成となり、少数会員の当県会、参加者に感謝です。継続は宝です。

MPPは、経営士能力開発講座→経営能力開発講座(士を削除)→MPP(商標を取得)と変遷した経緯があり、根底にあるのは思考力の養成、その内容は大～零細の企業研究であり、広く組織研究と言えます。皆様如何お考えですか？ 皆様、再確認をお願いします。

1. 開催日：2023年2月25日(土)

13：30～17：00(通常事前の情報交換的説明等、終了後検討会 各15分間)

17：30～(今回は非開催 従前は懇親会での会員外参加者と情報交換)

2. 参加者：2チーム、計10名(県内9名・県外1名＝県外や会員外が大切)

3. 開催場所：ひたちなか市 ひたちなか商工会議所

4. 使用ケースコード：トライアルケース(ケース練り上げの意味を込めて)

5. ケーステーマ(題名)：運命共同体的な下請外注先から脱却を図るための経営戦略

6. 終了後検討会：質疑応答を含み15分間

7. ケース選定の経緯：MPPを継続開催すると、採用ケース探しに苦勞する。

未選定ケース払底の状態であり、今回はトライアルケース活用を目指した。

お世話係としては、過去と同一ケース採用は避けたいのが本心である。

8. チーム編成と会員外(今回は2名)参加者について：

1) 計10名で2チーム編成、終了後検討会開催が大切、活発な意見交換できたと判断。

6名／チーム では多過ぎ、4～5名／チーム は活発な討議になる。

今回の5名／チームは適切と判断する。活発な検討に最適と判断・・・。

活発な討議結果を示す克明に記載のボード(写真)をご参照いただきたい。

当県会ではリーダー体験者を増加、MPPの会員外への普及に寄与したい。

2) 終了後、通常懇親の場を設け、情報交換や対話不足を補い相互理解を深めている。

今回は身近なテーマ、現実的な対話や感想に及ぶので、情報交換は有意義であり、開催したかったが、コロナ禍を配慮、非開催である。平常に戻ることを期待する。

9. 参加者の分析や感想等：

1) 今回MPP初体験者の感想も、通常の事例研究に比べケースの詳細を経歴、体験の違う方々が様々な視野、視点から検討でき、MPPが優れている旨の指摘である。

参加者の多種多様な考え方を0ベースで生かせるのは、MPPの優れた点であろうとの指摘でもある。MPPを批判してもよいがまずは体験して理解して欲しい。

2) 長年の製造業経験者が居り、同業界の歴史的経緯を解説いただけたのは、参加者の思考の助けになった様子である。先入観を入れるのは不適切とも言えるが、製造業の縦系列的歴史を知らずに検討するより、適切な検討、論議ができたと推定する。

ブランド確立の困難さと歴史を知っておくことは必要である。

3) 本ケースでは時代背景や経営環境をよく分析する必要があると示唆している。

自社ブランドの確立も大切だが、まず新規取引先20社の開拓を目標にしたい。

1社平均依存度5%となり自社の独立性確保になる。

4) 海外の企業、特にASEAN等にも広く目を向けるようにしたい。

言うは易しく行うは難しだが、地道に努力を重ねたい。

5) ホームページに設備能力を記載するのは受注するための表示である。発注先はそれにより発注の可能性等を判断している。経営士として専門外の知識を確立したい。

6) 企業間比較するときは、地元、県内、日本、国外等にも目を向ける必要があろう。

7) 我々は日本企業に目が向きがちだが、グローバルな視野・視点も大切だろう。

8) 今回のような質感あるケースやトライアルケースの作成につき、会員の力を発揮して欲しい。まずは会員皆様の経験を一般化してケース作成を期待する。

9) 今回も記載だが、2以上チームで構成、多支部に及ぶと、各支部の特徴が出てよい。

MPPにも県民性的な要素があり、各県会に呼び掛けて、多くの参加者に集まってもらう工夫が必要と思う。参加者の多様性確保ということである。

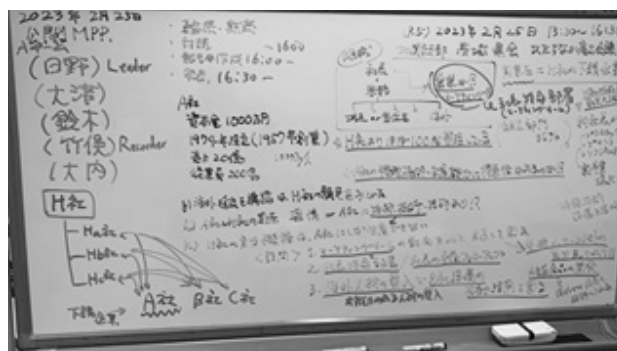
参加会員の皆様のご理解、ご協力により、密度の濃いMPPになり感謝します。

よき伝統が今後も引き続くことを信じています。

(茨城県会 MPP 写真提供 大内 雅功会員、お世話係 塚本 裕有)



(参加者の皆様)



(活発な意見交換が行われた)

両日とも新型コロナウイルスの感染拡大傾向を受けて、ZOOMとリアルのハイブリッド開催とした。

開催日 : 2月25日(土)

会 場 : ZOOM会議+船橋市中央公民館会議室(ハイブリット方式)

議 題 第1部

幹事会・運営委員会

- ① 2/17の理事会模様
- ② SMCでの来年度事業計画とPJ-Cでの活動実施状況
- ③ 推薦入会の手続きマニュアルの紹介
- ④ 来年度計画について

第2部

3Cの会は休止

開催日 : 3月25日(土)

会 場 : ZOOM会議+海神公民館・船橋市中央公民館会議室(ハイブリット方式)

※第1部、第2部の開催場所が別会場となったため事務局は移動対応した

議 題 第1部

幹事会・運営委員会

- ① 3/17の理事会模様
- ② 規程整備の件
 - ◆報酬規程、旅費規程、経費規程、個人情報に関する規定、他
- ③ その他

第2部

幹事会・運営委員会、続き

- ① 10号2/17の理事会模様
- ② 3Cの会運営打合せ
- ③ 経営士会内の事業説明
 - 「最新マーケティング手法での集客法」
 - ◆3/4に経営士会内で実施したプレゼン

以上

支部活動報告

中部支部最近の活動報告

中部支部

◆環境経営士養成講座開催・修了

開催期間：

ベーシックコース

2023年2月11日(土)

アドバンストコース

2023年2月18日(土)～19日(日)

開催場所：愛知学院大学 名城公園キャンパス



(受講生にてワークショップ)

中部支部主催で、毎年開催されている本養成講座。本部の協力も得て、今年は7回目の開催となりました。この「環境経営士」とは、現代社会において、企業にその対応が迫られている社会的ニーズ(環境経営・SDGs・CSR・ESGなど)を支援する専門家になります。

今回参加された受講者からは、「既に経営コンサルティングを実践しているが、これからの企

業や組織は、環境問題やSDGsなどに、サステイナブルかつレジリエンスに対応するスキルが必須である。この環境経営士の資格取得を機に、コンサルティング能力を向上させていきたい。」という意欲的な声をいただきました。

そして、講座の最後に環境経営士の確認テストを実施して、全員合格という結果となり、「環境経営士資格申請書」が提出されました。



(受講生の方々)

◆経営コンサル塾(第8回)

テーマ：「人を育てるリーダーシップの発揮法」

講師：梅本泰則

開催日：2023年2月25日(土)

開催場所：(株)中日メディアブレン研修室

講義の目次は、1.リーダーシップとは、2.リーダーシップ理論、3.リーダーの言葉、4.リーダーの役目、5.リーダーの姿でした。



(経営コンサル塾講義中)

「リーダーシップについて講義をするのは難しい。」と梅本講師は言います。それは、リーダー

シップについての考え方、捉え方が、人によって異なっているからです。数多の経営者や学者がリーダーシップについて語っていますが、必ずしも同じことを言っているわけではありません。

今回は、今まで講師が読んだリーダーシップに関する本の中から、いくつかの例が紹介されました。そして、山本五十六、徳川家康、松下幸之助、孫子の4人の“リーダー”が残した言葉から、リーダーシップについて参加者全員で考えることになりました。

これまでに、参加者各自が強い印象を持ったリーダーはどんな人であったか、そして、部下



(経営コンサル塾参加者)

や後継者を育てるにはどんなことをしたらいいのか、といったことに対して意見を申し合いました。改めて考えてみると、難しいテーマです。参加者の方々は、きっと何らかの気づきを得られたことと思います。

最後に、講師の考えるリーダーの姿「温、良、恭、儉、讓」が紹介されて、講義が締めくくられました。

◆広島全国研開催案内・経営研究会

テーマ：「『経営支援の総合商社』を目指して」

講師：井上 隆氏(中国支部所属、ラ・プラス(株)代表)

開催日：2023年3月11日(土)

開催場所：(株)中日メディアブレイン研修室



(講師：井上 隆氏)

今回は、10月14・15日の日程で広島において開催される全国研究会議PRのために、中国支部所属の井上隆氏にお越しいただきました。2年ぶりの開催となる今回の全国研究会議は、メインテーマを「理論と実践の融合ー強い日本を創るー」と掲げています。ポストコロナ社会を見据えた次世代創造に重点を置き、理論と実践を融合して創り出される「新たな繋がり」が重要であるとの考えです。「私たちは今、時代のターニングポイントに 있는ことを認識し、強い日本を創り出し、新しい未来を創造しましょう。」とのアピールと、中部支部会員への積極的な参加の呼び掛けをいただきました。

後半は、井上氏が代表を務めるラ・プラス(株)の事業内容を紹介していただきました。同社は、頑張る企業の経営力向上を支援する「経営支援の総合商社」を目指しています。楽しく、必死に、未来志向で仕事をするため、自社で商品開発を行い、価値観の合うお客様・パートナー作りにこだわるためHPも公開せず、新規営業も全くしない、秘密結社のようなスタイルで増収増益を実現しているとのこと。その経営戦略のポイントの紹介を受け、参加された会員の中には、自社とのマッチングポイントをいくつか見出すことができたのではないのでしょうか。

最後に井上氏は、「素敵なご縁やチャンスと出会うためには、楽しく必死に未来志向で多くの

バッテリーボックスに立つ＝行動し続けることである。」と、事業拡大の肝を力強く説いてくださいました。

◆経営コンサル塾(第9回)

テーマ：「稼げる会社の組織マネジメントとは」

講師：江口敬一

開催日：2023年3月25日(土)

開催場所：(株)中日メディアブレーン研修室

組織のデザイン、メカニズム、マネジメントの概論と、稼げる会社組織の在り方に関するディスカッションで講義を構成しました。

概論では、事例を交え、経営資源を投入して生産財を得るまでの、組織の分業と調整、連携と統合のメカニズムを重点的に講義。

ディスカッションでは、パンデミックが収束に向かう中、成長エンジンであったGAFAを始めとする世界的大企業が、業界を問わずDXを活用し、1万人規模の人員削減で組織改編を進める現況、及び、日本と先進諸国との生産性格差の分析、それに対する中小企業の組織形態、マネジメントの在り方について意見を交換。

「今後、中小企業が収益、生産性の維持、向上を図るには、業務の効率化と省人化による、より小さな組織で利益を最大化するマネジメントが必要だが、解雇に対する厳しい制約や、『雇用は企業の使命』とする日本特有の制度、考え方への対処が課題」との基調で、意見集約が進められました。



(経営コンサル塾講義中)

陽春の候、近畿支部の皆様には平素、支部の活動にご協力賜わり誠にありがとうございます。
近畿支部の直近の状況につきまして下記お知らせしますのでよろしくお願い致します。

1. 広島大会への視察報告

先月、第55回全国研究会会議広島大会の会場視察と全国研究会の概要説明を受けてまいりました。新大阪から新幹線にて約1時間半で広島駅に着きました。会場まではタクシーにて10分ほどです。会場の広島国際会議場は全国研にふさわしい会場です。

今大会は、歯科医院変革フォーラム実行委員会との協賛で行われます。大会については、メディア関係も注目されています。

本大会では、広島支部長の小原さん及び支部会員の努力の賜物と存じます。詳細について大会役員の方からの説明があり、その完成度は素晴らしいものであります。ただし、各支部の協力無くしては成り立ちません。当近畿支部も西日本地区の支部としての使命を果たしてまいりたいと存じます。是非、会員諸氏のお力をお貸してください。

広島大会 日時：2023年10月14日(土)・15日(日)

(文責：國廣 好行)

2. 近畿支部所在地の変更について

4月1日付けで下記の通り移動しましたのでお知らせします。

旧所在地 〒556-0016 大阪市浪速区元町2-8-1 ラポール難波 7F

新所在地 〒594-0012 大阪府和泉市小野町23-45

國廣好行税理士事務所内

(一社)日本経営士会 近畿支部 TEL：0725-41-2664

e-mail：kunihiro@xa2.so-net.ne.jp

正会員・準会員・賛助会員の皆様へ 経営士会バッジの特別頒布!!

経営士会バッジを通常2,000円のところ

2023年6月～8月まで

特別頒布価格 **1,200円(税・送料込み)**でお分けいたします。

※在庫がなくなり次第終了いたします。

お申し込みは本部事務局まで

e-mail：office@nihonkeieishikai.com

TEL：03-3236-0691 FAX：03-3239-1831

支部活動報告

インボイス制度個人事業主や免税事業者の対応

四国支部

四国支部では5月23日 インボイス制度 について、令和5年の税制改正による適格請求書の発行、保存について四国支部事務局の丸山(多田羅会計事務所所属)より解説が行われた。

「インボイス制度」導入により大きな影響を受けると考えられるのが、売上1千万円以下の免税事業者です。フリーランスや個人事業主の方の多くが免税事業者に該当する。免税事業者は「インボイス制度」に登録しないと「適格請求書」を発行することができない。しかし、買い手にとっては受け取る請求書が「適格請求書」でなければ仕入税額控除が認められない。買い手からすると、仕入から経費の支払いまで「適格請求書」を発行できる事業者を取引先とするといった判断をすることも考えられ、免税事業者は取引を中止されるなどの懸念がある。もし買い手である取引先から取引継続条件として「適格請求書」を求められ取引継続をする場合は、「適格請求書」を発行できる課税事業者になるしかない。なお課税事業者になるということは、今まで消費税の納税義務がなかった免税事業者の方も納税義務が生じることを意識しておくこと。「インボイス制度」導入後は、売り手が発行した請求書が「適格請求書」の要件を満たしているかを確認し、要件を満たしていなかった場合は取引先に「適格請求書」の発行を求めなければならない。また、「適格請求書」発行事業者から仕入れた場合と、「適格請求書」発行事業者以外から仕入れた場合では、分けて管理する必要があり、買い手にとっては、さまざまな事務作業があらたに追加されることが予想される。各事業所で準備を行い、不明・疑問点は顧問の会計事務所や税理士にご相談ください。



「SDGsを巡って」

1849 山下 博(近畿支部幹事)

福井県が、内閣府の「SDGs未来都市」に選定されたのは令和3年5月だった。「ふくいSDGsパートナー」の登録総数は同4月1日現在 913団体(5類型区分で、3番目の類型(市民団体・NPO・その他団体計94機関)に小生が所属(理事・相談役)の「NPO法人福井発明くふう研究会」が昨年9月に登録認証された。「達成宣言」を「自分たちにできる身近なテーマを会員の独創的な発想で発掘し実践する」とし、ゴールに12. つくる責任つかう責任、14. 海の豊かさを守ろう、15. 陸の豊かさも守ろう、を掲げてある。これらは県のHPの同事業の紹介欄にPDF形式ですべての団体分が閲覧可能となっている。また、任意だが合わせて各々のHPも掲載可能な様式となっている。当会分には任意団体から4代目の西澤理事長の「1976年(昭和51年)から始まった研究会がこの会の母体であり」で始まる挨拶文や、例会・諸活動状況、作品紹介等がある。前者では、大阪在住時の筆者が通っていた桜宮公会堂での「関西発明研究会」の福井版を、同じく通ったことがあるとの福井市の医療機器代理店の役員氏(若狭出身)の薦めもあって立ち上げたものでNPO法人化後は副理事長を務めていた。後者での、元女性教諭会員の「ランドショール」(ランドセルの外側に取りつける「物が入る袋」)は意匠、商標登録済。本人の「福井県産業支援センター※の尽力で誠実な業者さんに出会って“しっかりした良い品を地元で作りたい”との夢が実現した。」との言葉と共に取付け数画面にもなっており、遠隔地客等用の配慮もなされている。

※「パートナー登録の相談を受ける一般社団法人SDGs活動支援センターの人材リスト中の企業・団体等11件の1つ。今回担当のK氏とは以前からの知己」。

あるいは、予算付けとSDGsをリンクさせている福井市のSDGs担当者や、平成31年には国連から大使を招き「さばえSDGs推進シンポジウム」を開催し、「さばえSDGs推進センター」設立(めがね会館内)が全国的に見ても早かった鯖江市等の動きも見てきた。SX・GX(グリーン)研究グループに加わっているには第1回のエコ検定(受験会場少なく金沢商工会議所で受験)に合格しているが、事前に本部副会長・近畿支部長を務めておられた阪井正三先生を通じて東京商工会議所とのパイプがあったN会員からの依頼事があったこと、当会「50年誌」に寄稿された大阪能率協会の田原久雄会長(松下電器OB)絡みのこと等々が思い起こされる。会員諸氏におかれては当会2022年改訂版『SDGs・CSR・環境と経営』を是非とも精読・ご活用いただき、クライアントにもお薦めいただきたい。また、ケーススタディが豊富な『SDGsアクション〈ターゲット実践〉』の著者である日刊工業新聞松木喬記者(エコ検定合格者)とはオンラインの受講後、連絡を取ることがある。今後とも注視、実践して行きたいテーマではある。

※これまでの行政との関わり。 通商産業省産業構造審議会専門委員(大臣辞令)。産地振興計画策定委員(繊維・眼鏡)(中小企業庁)。特定不況地域調査員(通産省他、日本生産性本部)。福井県総合開発審議会専門委員(知事)。大規模小売店舗審議会委員(知事)ほか。

高橋栄一先生を偲んで

3月28日、四谷の本部から、高橋先生の訃報を受けました。享年84歳との事でした。支部監事の横田会員(現在本部・経営支援事業部委員長)から、高橋先生の体調が思わしくないとは伺っておりました。コロナ禍のせいもあり、横浜や東京四谷での会議の回数は激減し、この3年間は高橋先生とお目に掛かる事は出来ませんでした。5,6年前でしょうか、高橋先生と2人



で、横浜の神奈川県庁を訪ねた時、顔見知りの課長達と親しく話をされていたことを思い出します。中小企業診断士でもあった高橋先生は、地元の秦野市を中心に長年、積極的に活動されており、その結果、県庁の方々とも親しくなったのだと、その時納得しました。

先生のお通夜は3月30日に、告別式は31日にJA秦野セレモニーホールで行われました。お通夜には鈴木会長、近藤専務理事ら5名の幹部会員が、告別式には、近藤専務理事、戸部、小池(神奈川経営支援センター長)、横田会員が参列しました。又、神奈川MPP研究会代表の鈴木健会員の都合が告別式当日悪く、代わりに小生が、ご遺族に弔意をお伝えしました。弔電と献花については、本部に手配して戴きました。

JAの斎場入口近くに、高橋先生とご家族、或いはご友人達との楽しそうな集合写真が何枚も張られておりました。更に、その横に、先生のご功績を表す「エネルギーに即実行」というタイトルの文章も添えられておりました。その中に「ビジネスチャンスとは、人に会うこと」、そして「相手から有難うと言ってもらった時。あれは何とも言えないね」と高橋先生が満面の笑みをたたえたとの記載がありました。これらの文章は、将に高橋先生のご一生を表したご自身の言葉と、感心した次第です。

1971年に日本経営士会へ入会され、52年間の長きに亘り、会長を退かれた後も、日本経営士会発展の為に尽力戴き、誠に有り難うございました。ここに、高橋栄一先生に感謝すると共に、ご冥福を祈る次第です。

南関東支部長 戸部 廣康

弔事に代えて ～高橋栄一先生に捧ぐ

凜と背筋を伸ばし、屹立して吹きすさぶ風の中に先生はおられました。

矍鑠たるその佇まいは、毅然として古武士を彷彿させるものでした。

当会会長として、また54年に亘る経営士としての数多ある先生の活動・功績については、より適任な方からご披露いただくとして、私は経営支援事業部の後任委員長として、そして若干の個人的思い出と感謝を含め、近年の先生の足跡の一端をお伝えしたく存じます。

コンサルはまさに先生の天職でした。

ともすれば高学歴偏重に傾きがちなコンサルタント業界の中で、先生は高卒ながら、日本経営士会の会長を務め上げ、退任してからもなお、市井の一コンサルとして84歳の天命の尽きるその間際まで、地元の企業の相談に乗っておられました。

2012年、国は中小企業等経営強化法を制定し、中小企業の生産性向上の為の取組を策定させる事業を開始。その一環としてプロによる中小企業のサポート制度を作りました。それが国による認定経営革新等支援機関の資格認定と登録でした。

先生は自らの資格登録は勿論、当会の資格認定登録にも尽力されました。本来地域の支援機関を想定して設計された制度の為、全国組織である当会は当初対象外だったのです。

先生は東奔西走し、各所に働き掛け、遂に、その実現を果たされました。

その数年後、当時、「第4の人生」の設計を考えあぐねていた私は、HPに記載されていた「日本経営士会は認定経営革新等支援機関として登録されております」の文言に惹かれ、当会への入会を決めたのでした。

先生は信念の人でした。

同じ南関東支部の神奈川経営支援センター所属であった私は、当初から、先生とは接する機会もあり、直ぐに、会長を務められたこと、認定支援機関登録～経営支援事業部の生みの親であったことを知るのですが、謂わば、私と当会との縁結びの神とも言うべき先生とは、何故かどうもウマが合いませんでした。

やがて、ご縁があり、経営支援事業部でも先生とご一緒することとなるのですが、先生と私の意見はことごとく対立して、残念ながら肝胆相照らす関係とは行きませんでした。

そう、私も自身の信念には忠実な方で、激しい議論を戦わせることもしばしばでした。

また、紆余曲折あり、先生が再び委員長の座に復帰されていた時、私によるサボタージュ事件が起きました。

それは議論上の問題ではなく、後から考えれば、単なる誤解・行き違いによるものでしたが、

当時、存在自体を全否定されたと受取った私は抗議の意味も込めて、サボタージュしたことがあります。辞表を叩きつけた…か否かは記憶が定かではありませんが。

間に入ってくださる方もいらっしゃいましたが、私も頑固者でした。

2か月程経ったある日、別の筋から「あれは私が悪かった」との委員会での先生の発言が聞こえてきました。しばし悩んだ後、私は恥を忍んで詫言を入れ、復帰を許されました。

勿論、その後も二人の意見の対立は相変わらず続きました。

しかし、気のせいでしょうか。その後の先生の表情は優しくなったような、議論を楽しんでおられるような気がしてなりません。先生の笑顔は実に柔和で優しく印象的です。

私は所詮、お釈迦様の掌の上で飛び跳ねている石猿だったと言うことでしょうか。

先生は無私の人、誠実・正義の人、高潔の士でした。

能力の高い人は大勢います。しかし往々にして(それも才能の一つでしょうが)自己顕示欲が強い方が目立ちます。またおカネに汚い方も時々見かけます。

先生は、その対極の存在でした。当会&経営支援アドバイザーが認定支援機関の資格を使って稼ぐ仕組みを作ったのは先生ですが、それは個人の認定支援機関である先生が法人の統括責任者になって初めて可能となる制度でした。謂わば、先生のご厚意に「タダ乗り」している側面があり、私にはそれが釈然としませんでした。また、先生の高齢も気がかりでした。万一の際に、この仕組み・委員会は継続出来るのだろうか？と。

この問題意識から、当会認定支援機関制度の永続的維持の為、会員の資格取得の支援と統括責任者への委託料制度を私は提案。これまでの先生個人のご厚意・ボランティア精神に依存する仕組みから、キチンとしたルールを制定し、本制度の「サステナビリティ」確保を目指したのです。それは謂わば、経営支援事業部版BCP(事業継続計画)でした。

後日、この提案は正式に理事会で承認されました。

しかし、これは一步間違えば、先生に引導を渡す〜辞職勧告、権力闘争とも誤解されかねない側面のある提案でした。が、(いつも対立していたにも拘わらず)先生は拍子抜けする程、実にすんなりとこれに賛意を示されました。

地位や名誉にコイコイしない姿勢、会の運営を最優先させる、その姿勢は見事でした。

その後、先生は病状が悪化し、委員長を辞任され、お鉢は回り回って私のところにきてしまいました。それでも先生には顧問をお願いしていましたが、それも2か月程前に辞任されました。統括責任者と言う先の認定支援機関の中核的役割からも。

が、事前のBCP体制づくりが奏功し、スムーズに新体制に移行することが出来ました。

私は理事会に対して、認定支援機関登録の功績と同制度により経営士会が受取った多大な報酬額を示し、僅かではありますが、その一部を功労金として先生にお支払いする提案を行い承認されました。先生のご存命中に私なりに当会の「借り」の一部をお返しできたかなと思っています。

過日、先生の紹介で知己を得た弁護士から聞いた話です。仕事の関係で破産させざるを得なくなった企業の形式上の代表者就任をその弁護士は、同社とはなんら関係もない先生に依頼したそうです。先生は事情を勘案して快諾され、文字通りボランティアで、破産申し立て等の為、裁判

所に通われたそうです。鼻カニューレ(鼻にチューブを入れて酸素吸入)治療が開始されたにも拘わらず、「一度約束したことだから」と酸素ボンベ持参で裁判所に出頭され続けたそうです。「全く、頭が下がりました」と弁護士。先生はそういう方でした。

先生は誠実で心の広い方でした。

この3月の初め。突然、先生から電話がありました。委員長時代の先生からの電話自体は珍しいことではありませんでした。下ネゴでもないでしょうが、委員会の直前によく電話がかかってきました。

しかし、当時は既に顧問も辞任表明されていた時期で、なによりも病状が悪化し、電話どころではなかった筈でした。

私は嫌な予感がしました。

電話の内容は、「知り合いの弁護士から事業承継絡みの補助金支援を頼まれたが、体力的に無理なので代わりに引受けて欲しい」と言うものでした。私に選択の余地などありません。

数日後、私は紹介された弁護士の事務所にいました。先の破産関係の弁護士です。

一通り打合せが終わり、軽い雑談になった際、弁護士から、「いあや、助かりました。全く手に負えなくなって、藁をも掴む思いで高橋先生にお願いしたのですが、体調が悪いので手伝えないと謂われた時は、正直、愕然としました。『大丈夫、責任もって代わりの人間を紹介するから』と謂われたのでホッとしました。それが横田さんだったのですよ」

「私にとっても有難いお話しです」と私。

「高橋先生、おっしゃってましたよ。横田さんは信頼できる私の友人だからって」

私は絶句してしまいました。予想もしない言葉。別に相手を安心させるだけなら、「後輩だから、後任者だから」と言う事実だけで十分な筈です。いかに社交辞令とは言え、20歳近くも歳の離れた、入会以来日も浅く、まだコンサルとしても半人前の、いつも対立してきたこの私を、よりによって『友人』だなどと…

思わず込み上げてくるものがあり、私は弁護士から顔をそむけてしまいました…

お亡くなりになる3週間前のことでした。

高橋先生、長い間、お疲れ様でした。

先生が敷き、先頭立って突き進まれた伴走型の中小企業支援路線。及ばずながら、私達が更に延伸させていく所存です。お互い、アプローチ手法こそ異なっていましたが、目的地は同じでした。走り尽くめの先生の一生。本当にお疲れ様でした。

どうぞ、今は、お墓の中でも、千の風になっても、ゆっくりとお過ごしください。

時々私達がサボっていないか、見に来てくださいね。また激論を交わしましょう。

令和5年4月
経営支援事業部委員長 横田 英滋

第55回経営士全国研究会議 「研究論文大募集」エントリー締切り迫る!!

— 包括テーマ —

『理論と実践の融合』

～強い日本を創る～

第55回経営士全国研究会議は広島で開催します。恒例の研究論文をプログラムに設けますので、多数の論文応募をお待ちしております。

※ 募集要領 ※

- 資格 : 一般社団法人日本経営士会 会員
- 論文テーマ : ①包括テーマに準拠するもの
②その他、経営士としてのコンサル活動をテーマにしたもの
- 事前申請 : 応募を希望される場合は、**2023年5月31日(水)**までに
氏名、会員番号、支部名、論文テーマを事務局あてにメールにて申請
してください。
事務局メールアドレス : office@nihonkeieishikai.com
- 執筆要綱 : 日本経営士会研究論文執筆要綱による
(マネジメントコンサルタント1・2月号参照)
- 論文締切 : 2023年7月31日(月)
- 応募方法 : ワードで作成のうえ。メール添付またはデータを下記へお送りください。
〒102-0084 東京都千代田区二番町12-12 B.D.A.二番町ビル5階
事務局メールアドレス : office@nihonkeieishikai.com
TEL : 03-3236-0691 / FAX : 03-3239-1831
- 日程 : ・ 5月31日(水) エントリー締切
・ 7月31日(月) 論文締切
・ 8月下旬 論文審査
・ 10月14日(土) 第55回経営士全国研究会議にて優秀論文発表・表彰
- 賞金 : 最優秀賞論文 1名(賞状、副賞10万円)、
優秀賞論文 2名(賞状、副賞5万円)、入賞論文 5名(賞状、商品券)

第12回 ビジネス・イノベーション・アワード2023 募集のご案内

ビジネス・イノベーション・アワードは、本会経営士の指導のもと経営革新やSDGs等社会貢献等で顕著な成果をあげた経営者、社会支援者、企業、団体等を表彰して、企業と地域社会の活性化を支援する目的で創設した事業です。「第12回ビジネス・イノベーション・アワード2023」を下記の要領にて募集します。自薦・他薦いずれの応募も歓迎します。

<応募・選考スケジュール>

- ☆応募受付期間：2023年4月10日 ～ 6月30日
- ☆選考審査：7月13日(木) ※予定
- ☆選考結果発表：7月下旬ごろ
- ☆表彰式：10月14日(土) (第55回経営士全国研究会議)

<募集(表彰)の対象範囲>

*経営革新、SDGs等社会貢献、地域活性化等で顕著な成果をあげた個人、企業・団体を対象とします。

- ◆経営改善や経営革新に取り組み経営の立て直し又は成長を実現した
- ◆多様性を持って企業経営や地域社会に貢献した
- ◆独自の人材教育や人的資源を活用して成果につなげた
- ◆多様な働き方に配慮したダイバーシティーマネジメントやワークライフバランスを重視した経営に取り組み成果につなげた
- ◆ビジネスの創造により独特の分野で起業して成果につなげた
- ◆医療・福祉及び農業分野で顕著な成果をあげた
- ◆環境保護や少子高齢化対応等で地域社会に貢献した
- ◆上記に準じた取り組みや活動成果を対象とします。

<選考審査の視点>

上記の表彰範囲を満たすもので、「理念・手法・ビジネスモデルの創造」などが優れたものであるか、また、過去に「賞」や「社会的な評価」を受けた企業等が引き続き、革新に挑戦しているかなど、経営コンサルタント(経営士)の視点で選考します。

<応募対象>

☆応募は、個人及び中小規模の企業、団体等とし、自薦・他薦を問いません。

<選考方法> 選考委員会において選考します。

<表彰の種類> *会長賞(表彰状、トロフィー) 1組、*優秀賞(表彰状、トロフィー) 数組

<応募方法>

所定の応募・申請用紙に必要事項を記載のうえ、会社案内又は活動案内等を添えて2023年4月10日から6月30日までの間にメール送信又は下記あてにご郵送ください。

応募・申請用紙は、一般社団法人日本経営士会ホームページ(<https://nihonkeieishikai.com>)からダウンロードしてお使いください。

インフォメーション

行事・講座・セミナーのご案内

行事・研修・セミナー	日 時	開催場所	詳 細	申込方法等
SDGs経営士 養成講座	6月3日・10日・ 17日・24日(土) 10:00～17:00	ZOOM 配信	20,000円～ 25,000円 資格により受講日 数が異なります	本誌参照
経営支援事業 e-ラーニングシステム	5月13日(土) 13:00～14:30	ZOOM 配信	—	本誌参照
NJK女性経営士の会 ウェルカムミーティング	7月8日(土) 10:00～	ZOOM 配信	—	—
NJK女性経営士の会 (MPPリアル開催)	8月26日(土) 13:30～16:30	TIME SHARING 四谷9B	会費：2,000円	本誌参照
第58期経営士養成講座	6月11日(日)～ 8月26日(土) 10回	本部会議室 ZOOM配信	受講料 220,000円	準会員割引制度あり 本誌参照
第76回環境経営士養成講座 (ベーシック)	5月13日(土) 10:00～17:30	ZOOM 配信	受講料 15,000円	—
第76回環境経営士養成講座 (アドバンスト)	5月20日(土)・21日(日) 10:00～17:30	ZOOM 配信	受講料 30,000円	ベーシックコース 受講者27,000円
第77回環境経営士養成講座 (ベーシック)	7月15日(土) 10:00～17:30	ZOOM 配信	受講料 15,000円	—
第77回環境経営士養成講座 (アドバンスト)	7月22日(土)・23日(日) 10:00～17:30	ZOOM 配信	受講料 30,000円	ベーシックコース 受講者27,000円
MPP (山梨経営支援センター 春季)	5月20日(土)・27日(土) ①9:30～12:30 ②13:30～16:30	韮崎市民 交流センター	参加費 1回：1,000円	両日とも2回開催
MPP (茨城県会)	7月29日(土) 13:30～17:00	—	—	—
AMCJクロッシング	6月11日(日) 10:00～12:00	ZOOM 配信	テーマ未定	公開 本誌参照
AMCJクロッシング	7月15日(土) 13:00～17:00	名古屋開催	—	終了後 懇親会あり

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
会務に多大のご尽力をされました。

* 岩城 猪一郎 (東京支部 会員NO.5171)

令和5年1月11日(享年84歳)

* 高橋 栄一 (南関東支部 会員NO.834)

令和5年3月27日(享年84歳)

第58期経営士 養成講座 受講生募集

本部・中日本ブロック共催
【主管 南関東支部】



(詳細条件は当会HP をご覧ください)

★受講対象者

- ①これからの時代に伴走支援のできるコンサルタント・士業を目指したい方
- ②激しい社会環境に立ち向かう中小企業の活きた経営を学び、自社経営の新たな価値創造を図りたい経営者・経営後継者・経営幹部
- ③異分野メンバーとの共同作業を通じて新事業開発、起業の着想を得たい人、コミュニティを作りたい人

★期 間 ：2023年6月11日（日）～8月26日（土）の10日間

★研修会場：一般社団法人日本経営士会 本部会議室
及び実務研修先

(本部住所) 〒102-0084 東京都千代田区二番町12-12 B.D.A二番町ビル5F

★受講申し込み：

申込方法 メールまたはFAXにてお申し込みください

※受講料の納入をもって受付完了とさせていただきます

募集人員 10名

※定員になり次第締め切らせていただきます

受講料 220,000円（税込）

※受講開始後の返金は致しません

お知り合いの方々に
お勧め願います！

Management Consultant

経営に知恵と革新

Intelligence and Innovation in Management